

会員皆様には、希望に満ちた新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年も当連盟運営に深い御理解と御協力の下、御高配を賜りまして誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

さて、今年で、東日本大震災から丸七年を迎えます。関係各位の御尽力によりかなり復興が進んでおり喜ばしい反面、新しい住環境の中でのコミュニティづくりや復興後の地域経済等、新たな課題解決に取り組んで行かなければなりません。

ところで、昨年開催された当連

会員各位の御支援、御協力を賜りまして心から感謝申し上げます。

剣道は、身体を鍛え少々の事にはへこたれない強い人間を育てる事、これは、他のスポーツと同様であります。剣道はそれに加えて精神面の修養、心の鍛錬が求められます。日頃の厳しい稽古により心の鍛錬を受けた若者が社会へ出た時、どれだけきちんと身を処する事が出来るかは大変大きな事であります。だからこそ、我が国の精神文化の影響を強く残していく剣道を一人でも多くの少年剣士に知つてもらう事が國の将来にも係わる大切な事であります。剣道の厳しい稽古を通じて人間形成を育み、先生や先輩に対する礼の心、敬う心、友人を大切にする心、他人への思いやり等々、これらを身に備えた剣道人の養成に諸先生方、役員、会員の皆様と共にしつ



石巻剣道連盟会長
齊藤正美

重頭挨拶

盟の主催又は、関係の各種大会や行事には、当連盟役員の皆様や、会員各位の御支援、御協力を賜りまして心から感謝申し上げます。

剣道連邦人

広報誌 第5号
発行所 石巻剣道連盟部
印刷所 御明正社印刷所

かり取り組んでまいります。

石剣連としてやる事は沢山あると思います。多くの方々の御意見アドバイスを賜りながら更なる発

ドイツスポーツ巡回 との交流

総務部部会長 外田 育久

第四十四回日独スポーツ少年団同時交流事業の一環として、ドイツの各種目のスポーツ少年団の団員と指導者十数名が宮城県を訪れ、夏真っ盛りの八月三日、石巻市総合体育館では、「武道の街いしのまき」として、空手、柔道、剣道を体験することとなっていた。

団員は十代後半から二十代が大半で、各競技団体四十分での体験活動をさせて欲しいとの依頼で、剣道連盟として何を体験させるかで総務部員みんなで頭を悩ませるところとなつた。折角剣道を体験するのであれば、剣道着と防具を着けての体験がいいだろうという

最後に参加者全員で写真を撮り、短い時間ではあつたが交流の輪を深めることができたのではと感じた。

団員から、剣道経験者の実演が見たいとの要望があり、指導者の気迫の込もつた切り返し、真剣勝負の試合を見てもらつた。その迫力に息をのみ、真剣な眼差しで見学をしている団員の姿が印象的だった。

最後に参加者全員で写真を撮り、短い時間ではあつたが交流の輪を深めることができたのではと感じた。

そこで、全員分の防具を用意し、宇角先生が各団員に漢字の垂れネームまで準備をして頂いたお陰で、喜んで活動を行つたようだ。よつぼど剣道着姿が気に入つたようだ、



展に努めてまいる所存です。今年も皆様にとりましてより良い年になりますようご祈念致します。

お互いに写真を撮りあう姿が見られた。

恩師 武山松五郎先生

遠藤勝雄先生プロフィール



“勝利三原則”で
鍛えられた

範士 遠藤 勝雄

昭和十五年 宮城県石巻市（旧河北町）馬鞍に生をうける。
飯野川高等学校に入り、剣道を始め 剣道範士八段武山松五郎先生の指導をうける。
国士館大学時代、斎村五郎、大野操一郎、小野十生、堀口清、阿部三郎、伊保清次
各先生の指導を受ける。卒業後、宮城県高等学校教員となる。
石巻養護学校校長を最後に定年退職。

高等学校時代 宮城県代表として国体出場
平成13年の宮城国体において成年の部大将として出場し、宮城県団体優勝に導く。

現在

剣道 範士八段

仙台市剣道連盟会長

東北大学生友会剣道部師範
宮城県剣道連盟顧問、審議委員、等々

全日本剣道連盟指導委員会委員

位に入賞（個人的には全勝した）

三つ：連続の業については、失敗
したらそのままにしないで二の太刀、三の太刀に繋げ当たるまで打
て、かわした、抜いた受けた太刀
はそのままにしないで直ちに攻撃
され、その為には、足の捌きが大切
であることを強調された。

私が剣道を始めたのは高校一年
の六月からである。友人に勧めら
れ、剣道部に入った。そこで生涯
の師 武山松五郎先生と出会った

「良師を得ざれば学ぶにしかず」

とは道元禪師の金言であるが、求
めて入ったのではないでまさに
神様の導きであったと思っている。

先生は部員に練習上の三つの原
則を示し、一人ひとりがそれを具
現できるよう毎日、朝夕二回の稽
古で、自ら剣道具を付けて、指導
にあたられた。

勝利三原則
一、打突部の確実なる業
二、捨て身の業
三、連続の業



高校時代 昭和32年…

写真右から武山松五郎先生、筆者
鈴木善見、松川利夫、日野

基本重視の指導をされた。一本一
打を場に臨んで反射的に確実につ
かえるように鍛えられたものであ
る。苦しければ苦しいほどそれに
耐えて、機会をとらえて基本どお

り打てが先生の口癖であった。
二つ：捨て身の業では、気で技に
勝つ相打ちの勝ちを教えていただき
た。相手の打ちを怖がるな、死
ぬ所が勝つ所と教え常に機先を制
することを求められた。

三つ：確実なる業、についてはこ
れほど難しいものではなく、これを
体得させるために先生は徹底した
一つ：確実なる業、についてはこ
れほど難しいものではなく、これを
体得させるために先生は徹底した
ある。

勝利三原則、

一つ：確実なる業、についてはこ
れほど難しいものではなく、これを
体得させるために先生は徹底した
ある。

二つ：捨て身の業、についてはこ
れほど難しいものではなく、これを
体得させるために先生は徹底した
ある。

三つ：連続の業については、失敗
したらそのままにしないで二の太
刀、三の太刀に繋げ当たるまで打
て、かわした、抜いた受けた太刀
はそのままにしないで直ちに攻撃
され、その為には、足の捌きが大切
であることを強調された。

「して見せて、云つて聞かせて、
させて見て褒めてやらねば人は動
かじ」とは上杉鷹山公の教えであ
るが先生の教えは将にこの通りで、
威嚇したり大きな声を出すような
ことは一度もなく、その態度は気

品に満ちておられた。私が卒業した翌年には三原則に精進五原則を

提示され第十四回国民体育大会で悲願の初優勝を成し遂げさせた。

そして晩年は永年の経験からみちびき出した「剣道耕人の指導理念」

を掲げ、その一環として第五十六回国民体育大会剣道競技の会場誘致に奔走され河北ビッグバンでの開催に漕ぎ着けたが、その喜びも束の間、病魔の侵すこととなり、開会を待たずに帰らぬ人となってしまった。さぞ無念であつたろうと思つてはいる。

私は縁あつてこの大会に選手として出場。素晴らしい仲間に支えられ、なによりも地元の皆様の温かい声援のお陰で幸いにも優勝することができ、先生のこれまでのご恩に報いることが出来たのは幸せであつたと思つてはいる。また先生の唱えられた「剣道耕人」の指導理念が地元剣連の皆様に引き継がれ、定着していることに大きな喜びを感じているところです。

石巻剣道連盟のますますのご発展をご祈念申し上げます。合掌

平成13年宮城国体（成年の部）

大将戦にて

第36回石巻地区少年剣道錬成大会

事業部部会長

木村剛美



日本剣道形講習会
講師 遠藤範士を迎えて



（写真引用文献参考等
桃生郡剣道史より）

去る平成二十九年十月八日㈰、第六回石巻地区少年剣道錬成大会が今年も盛大に行われました。



石巻地区の少年剣士にとって、恒例の大会になつた本大会。今年度は、小・中学生三百十七名と昨年度より二十二名多い参加者を得て、「この大会を目指して」各部門とも、夏場の稽古を乗り切った意気込みが感じられる大変嬉しく思います。

事業部では約二ヶ月かけて、大会当日に向けての計画・準備を行っています。中学生Ⅱ部の部門を設けていることが、本大会の特色であります。付け加えて毎年、「テーマ」となる内容を組み込むことから話します。①初心者



日本剣道形（高校生による）
打太刀 佐藤 肇君
仕太刀 門間 栄太君

による演武②日本剣道形を高校生が行うという話で今年度は決定しました。テーマを一言で言えば「原点」になるでしょうか。大会の優勝者にせよ、高段者にせよ、「竹刀を始めて握ったときのこと」、キドキしながら道場に通ったことなど、初めはみんな一緒の思いで剣道を志したことと思います。皆さんに、「そのときのこと」を想起していただきたい思いで立案しました。各団のご理解、高体連の先生方のご協力でこの内容を実現することができました。石巻工業高校の佐藤・門間両選手の日本剣道形も素晴らしい演武でした。初心者の演武は今後も残したい内容です。

今年度も、選手の試合態度、節度ある応援や観戦がとても素晴らしい元気いっぱいの試合が展開されました。小学生団体優勝の湯殿山剣道A皆さん、そして各部門個人戦入賞の皆さん、おめでとうございます。

結びに、大会運営・審判に携わっていただいた剣道各部の先生方、準備から後片付け、係としてご協力いただいた保護者の皆様に感謝いたします。

気迫のこもった試合



小学生個人三・四年の部（男子）

- | | | | |
|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------|
| 第一位 初貝 紗心（湯殿山剣道スポ少） | 第一位 吉田 修也（正心学館道場） | 第一位 武山 煙明（廣心館道場） | 第一位 鈴木 悠生（河北剣道スポ少） |
| 第二位 吉田 純也（正心学館道場） | 第二位 吉田 智奈（湯殿山剣道スポ少） | 第二位 菊地 七海（河北剣道スポ少） | 第二位 千葉日菜乃（廣心館道場） |
| 第三位 立山 真也（正心学館道場） | 第三位 加藤央暉（河南東中学校） | 第三位 匠平（湯殿山剣道スポ少） | 第三位 佐々木聖羅（桃武館剣道スポ少） |
| 第三位 湧美 匠平（湯殿山剣道スポ少） | 第三位 佐藤怜雅（河南東中学校） | 第三位 佐藤大和（飯野川中学校） | 第三位 安積 柚芽（河南東中学校） |

中学生個人I部（男子）

- | | | |
|---------------------|-------------------|--------------------|
| 第一位 初貝 優季（湯殿山剣道スポ少） | 第一位 加藤央暉（河南東中学校） | 第一位 大森 茗花（矢本第一中学校） |
| 第二位 吉田 純也（正心学館道場） | 第二位 佐藤怜雅（河南東中学校） | 第二位 米谷凜々花（蛇田剣道スポ少） |
| 第三位 立山 真也（正心学館道場） | 第三位 佐藤大和（飯野川中学校） | 第三位 大和 華蓮（蛇田中学校） |
| 第三位 湧美 匠平（湯殿山剣道スポ少） | 第三位 佐藤怜維（蛇田剣道スポ少） | 第三位 安積 柚芽（河南東中学校） |

中学生個人II部（女子）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 第一位 小山結衣（住吉中学校） | 第一位 前谷地剣道・三獅剣友会合同 |
| 第二位 菊地風花（河北剣道スポ少） | 第二位 福田秀美 |
| 第三位 高橋聖愛（桃生中学校） | 第三位 中堅 阿部龍晟 |
| 第三位 戸澤千夏（青葉中学校） | 副将 吉田智奈 |

小学生個人五・六年の部（男子）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 第一位 阿部 泰晴（梅木剣道スポ少） | 第一位 石川 悠人（河北剣道スポ少） |
| 第二位 吉田 智和（湯殿山剣道スポ少） | 第二位 石川 蒼唯（河南東中学校） |
| 第三位 川田 忍（河北剣道スポ少） | 第三位 千葉麟太郎（蛇田剣道スポ少） |
| 第三位 佐藤 俊介（蛇田剣道スポ少） | 第三位 山内 研人（護国館剣道スポ少） |

中学生個人II部（男子）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 第一位 阿部 泰晴（梅木剣道スポ少） | 第一位 石川 悠人（河北剣道スポ少） |
| 第二位 吉田 智和（湯殿山剣道スポ少） | 第二位 石川 蒼唯（河南東中学校） |
| 第三位 千葉麟太郎（蛇田剣道スポ少） | 第三位 千葉麟太郎（蛇田剣道スポ少） |
| 第三位 山内 研人（護国館剣道スポ少） | 第三位 山内 研人（護国館剣道スポ少） |

第6回 石巻地区少年剣道錬成大会
試合結果

小学生個人二年生以下の部（男女混合）

- | | | |
|---------------------|---------------------|--------------------|
| 第一位 初貝 紗心（湯殿山剣道スポ少） | 第一位 吉田 智奈（湯殿山剣道スポ少） | 第一位 大森 茗花（矢本第一中学校） |
| 第二位 吉田 修也（正心学館道場） | 第二位 加藤央暉（河南東中学校） | 第二位 米谷凜々花（蛇田剣道スポ少） |
| 第三位 武山 煙明（廣心館道場） | 第三位 佐藤怜雅（河南東中学校） | 第三位 大和 華蓮（蛇田中学校） |
| 第三位 鈴木 悠生（河北剣道スポ少） | 第三位 佐藤大和（飯野川中学校） | 第三位 安積 柚芽（河南東中学校） |

小学生個人五・六年の部（女子）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 第一位 吉田 智奈（湯殿山剣道スポ少） | 第一位 大森 茗花（矢本第一中学校） |
| 第二位 菊地 七海（河北剣道スポ少） | 第二位 米谷凜々花（蛇田剣道スポ少） |
| 第三位 千葉日菜乃（廣心館道場） | 第三位 大和 華蓮（蛇田中学校） |
| 第三位 佐々木聖羅（桃武館剣道スポ少） | 第三位 安積 柚芽（河南東中学校） |

中学生個人II部（女子）

- | | |
|---------------------|-------------|
| 第一位 吉田 智奈（湯殿山剣道スポ少） | 第一位 福田秀美 |
| 第二位 加藤央暉（河南東中学校） | 第二位 中堅 阿部龍晟 |
| 第三位 佐藤怜雅（河南東中学校） | 副将 吉田智奈 |

小学生団体の部

優勝 湯殿山剣道スポーツ少年団A

先鋒 佐藤有真

次鋒 福田秀美

中堅 阿部龍晟

副将 吉田智奈

準優勝 河北剣道スポーツ少年団A

第三位 前谷地剣道・三獅剣友会合同

第三位 正心学館道場A

石剣連 一般稽古会へのお誘い

指導部副部会長 安齋 雅裕

新石巻剣道連盟が発足後、会員向けの一般稽古会は、毎月第二土曜日、小学生練習会の後、午後8時より、およそ40～50分間で実施してきました。それまでの毎月第三水曜日午後7時からの稽古会では、仕事の都合がつかないなどで、参加者が少なく（およそ毎回10名程度でした）何らかの技術的な変更を行わないと参加者は増えないのではないか…という意見が多く出されていたからです。そこで、小学生の練習会の日であれば、多くの一般の方々も引率・同行していらっしゃるであろうから、その日に一般稽古会を移動してはどうかという意見が多く出され、現在の稽古日に変更になりました。しかし、ふたを開けてみると、参加者は相変わらず10名前後です。小学生の練習会の比率・同行する一般の人は増えていると思われますが、小学生の練習会終了とともに帰宅する人が多いからだと思われ



ます。子供たちに大人が模範を示す、という意味からも、もっと多くの方々に参加していただきたいと思います。剣道では「交劍知愛」という言葉がよく使われますが、より多くの方々と剣を交えることにより、お互いの人間性が高められ、また己の剣道修行もより豊かで深いものとなると思われます。

稽古内容は、現在は地稽古中心に行っていますが、今後は、基本技稽古や昇段審査を意識した稽古なども取り入れて参りたいと思いますので、奮って参加していただけたらと思います。

藤文雄団長先生の元で日々稽古に励んでいます。団員は、小学生13名、中学生3名の16名で、週2回（水曜日・土曜日ともに19:00～21:00）河北総合センタービッグバンの柔剣道場で稽古をしています。河北剣道スポーツ少年団では、礼節を重んじ、「守破離」の言葉を面タオルに記しています。剣道はもとより、普段の生活の面から諸先生方にご指導をいただいております。正しい剣道や礼法など様々な面で指導して下さっている先生方の教えを、団員や父兄が共に学んでいる少年団です。小学生から中学生の団員は、真剣な眼差しで稽古に励み、自己研鑽していきます。稽古の成果を發揮する各種大会では、良い結果を上げることができた団員もあり、またさらなる課題を見つけ稽古に励んでいます。

河北剣道スポーツ 少年団の紹介

河北剣道スポーツ少年団は、本年で38年目を迎えます。武山松五郎先生が団を創設し、その後、遠藤優団長へと引き継ぎ、現在は後

藤文雄団長先生の元で日々稽古に励んでいます。団員は、小学生13名、中学生3名の16名で、週2回（水曜日・土曜日ともに19:00～21:00）河北総合センタービッグバンの柔剣道場で稽古をしています。河北剣道スポーツ少年団では、礼節を重んじ、「守破離」の言葉を面タオルに記しています。剣道はもとより、普段の生活の面から諸先生方にご指導をいただいております。正しい剣道や礼法など様々な面で指導して下さっている先生方の教えを、団員や父兄が共に学んでいる少年団です。小学生から中学生の団員は、真剣な眼差しで稽古に励み、自己研鑽していきます。稽古の成果を發揮する各種大会では、良い結果を上げることができた団員もあり、またさらなる課題を見つけ稽古に励んでいます。



練習に励んでいる剣士諸君

平成二十九年度全日本剣道連盟より、剣道称号、及び各段位にて合格された先生方の栄光を
称えより御紹介致します。

劍道稱號段位

三浦功一先生



七段
菅野由里子先生

三浦 功一先生

鍊士
佐藤重男先生



佐藤潤先生

六段 関 弘爾先生



六段
今野

六段半澤 正樹先生



高瀬
卓弥先

五
齋藤 宏樹先生



佐藤 広樹先生

の演武と「試し斬り」を行う予定です。小・中学生向けに「刀とのふれあい体験」も準備されています。鍊成稽古の時間をたっぷり取り、石巻地方の剣道愛好者の交流と技量の切磋琢磨を図りたいと考えております。

里種試合披露



古稽同合と達達供供子

「剣道耕人」第五号発行にあたり、原稿や写真、情報提供など、ご協力頂きました皆様には深く感謝申し上げます。

広報記録部会では、会員の先生方だけでなく、沢山の人たちにも読んでもらいたいという思いで広報誌を作っています。この第五号に至るまで、手に取って読みたくなるような見出しや記事選びの工夫を試行錯誤してきました。

今年は戌年ということで、守りの年とも言われ、剣道人としても、あまり良いイメージを持たれないと想いますが、備えの年と見れば、マイナスのイメージは逆転するのではないかと想います。年と見れば、マイナスの酉年は収穫の年で、失敗と成功から色々なものを得ることができます。そこで得たものを活かし、必要なときのために最大限の力を出せるよう、日々の努力で備えておきたいと思います。

皆に親しまれる大親しみ深い存在になります。

卷之三



広報記録部の面々です